

関西電力株式会社、インドネシア共和国／大規模複合ビル群における空調設備のA I 制御実証事業が、経済産業省の令和7年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（小規模実証・F S 事業）に採択

2026年7月29日
関西電力株式会社

関西電力株式会社（本店：大阪府大阪市、代表執行役社長：森 望）は、2026年6月30日、インドネシア共和国／大規模複合ビル群における空調設備のA I 制御実証事業が、経済産業省の令和7年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（小規模実証・F S 事業）に採択されたことをお知らせします。

この度、採択された事業は、インドネシア共和国において、大規模複合ビル群にA I 空調制御システムを導入し、その運用や効果を検証することを目的としています。

＊令和7年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金
（小規模実証・F S 事業）特設ホームページ

<https://r7h-gs-hojo-web-fspoc.jp/>

インドネシア共和国では、都市開発の進展に伴い、オフィス、商業施設、ホテル、住宅などで構成される大規模複合ビルの開発が進んでいます。こうした大規模複合ビルでは、施設の用途や時間帯によって空調負荷が大きく変動することが想定されます。

本実証では、当社および当社100%子会社である関西エナジーソリューションズ・インドネシア社が、日本国内で導入実績のあるA I 空調制御システムを活用し、冷凍機、冷却塔、ポンプなどで構成される空調熱源システム全体を対象に、高温多湿な環境下における運転制御について検証します。

また、複合用途施設特有の空調負荷の変動に対応しながら、省エネルギー化と運用高度化の両立を図る運用モデルの有用性を評価します。

当社グループは、本実証を通じてインドネシア共和国における省エネルギー化および脱炭素化に貢献するとともに、本実証で得られた知見を活用し、海外のお客さまへの脱炭素ソリューションの提供拡大に取り組んでまいります。

以 上